

実施概要

実施方法…郵送による配布・回収

調査期間…7月24日～8月10日 (投函期限から1週間後の回収分までを集計の対象とした)

回収状況

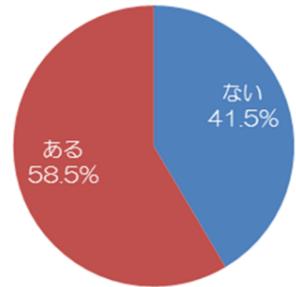
調査種別	配布数	回収数	回収率
A. 就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査	1,500	411	27.4%
B. 転入者アンケート調査	200	45	22.5%
C. 転出者アンケート調査	300	73	24.3%

A. 就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査

【家庭・結婚に対する考え方】

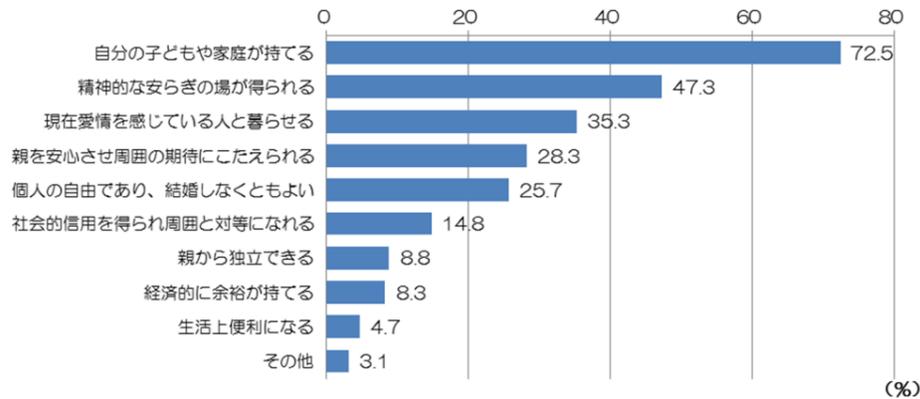
Q1. 結婚したことがありますか (N=410)

回答者の6割が結婚経験者、未婚者は4割でした。



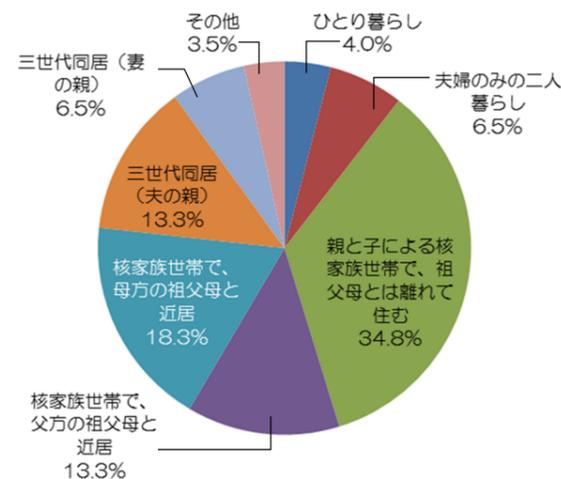
Q2. 結婚についてどう考えていますか (N=385)

結婚に対しては「自分の子どもや家庭が持てる」と考える人が最も多く、「精神的な安らぎの場が得られる」が続いています。



Q3. 理想の家族の住まい方とは (N=400)

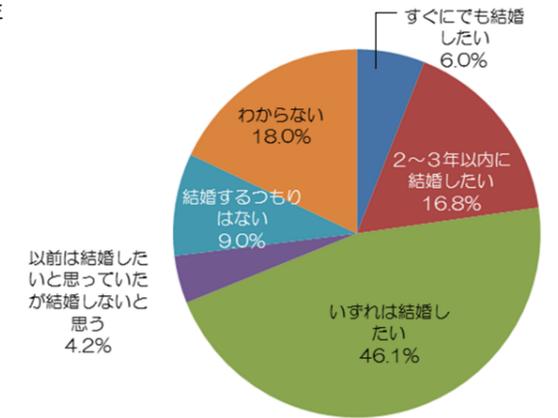
理想の家族の住まい方をお聞きしたところ核家族世帯を選んだ方が三世代同居を上回りました。このうち「祖父母と近居」を選んだ方と「祖父母とは離れて住む」を選んだ方はほぼ同じ割合でした。



【独身者の結婚観】

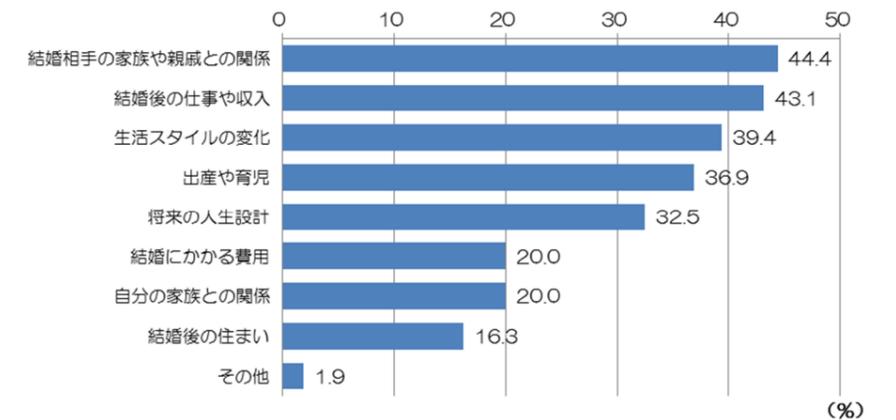
Q6. 将来結婚したいですか (N=167)

独身者の7割が結婚したいと考えていますが、3年以内の結婚を考えている方は2割にとどまります。



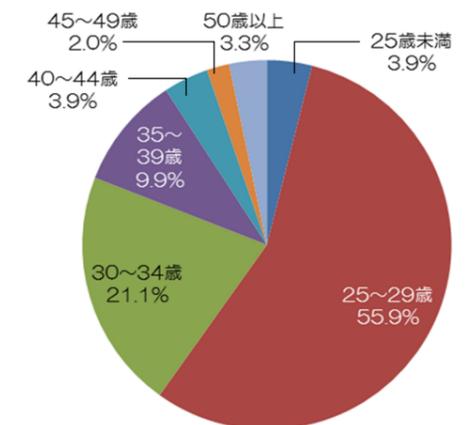
Q7. 結婚について気になること (N=160)

結婚を考えるにあたり気になることをお聞きしたところ、「結婚相手の家族や親せきとの関係」「結婚後の仕事や収入」などを選んだ方が多くなっています。



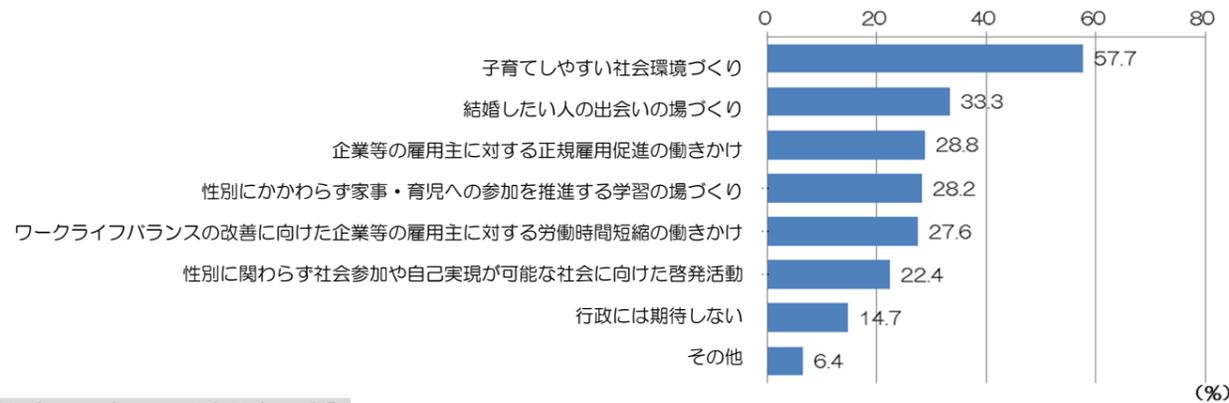
Q9. 結婚を希望する時期 (N=152)

結婚を希望する時期は20歳代後半が最も多く、30歳代前半までで8割となっています。



Q13. 行政による結婚支援策として有効だと思うもの (N=156)

行政による結婚支援策として有効だと思うものをお聞きしたところ、他の項目よりも「子育てしやすい社会環境づくり」を選ぶ方が多くなっています。



【出産・子育てに対する考え方】

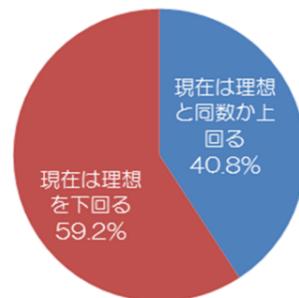
Q14. 子どもの人数

現在の子どもの数で最も多かったのは0人、次いで2人で平均は1.0人でした。一方、理想とする子どもの数で最も多かったのは2人、次いで3人で、平均は2.4人で、理想と現実の差は1.4人となりました。

	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	平均
現在 (N=394)	48.2%	14.2%	24.4%	11.4%	1.5%	0.3%	1.0人
理想 (N=379)	3.7%	4.0%	48.3%	40.4%	2.6%	1.1%	2.4人

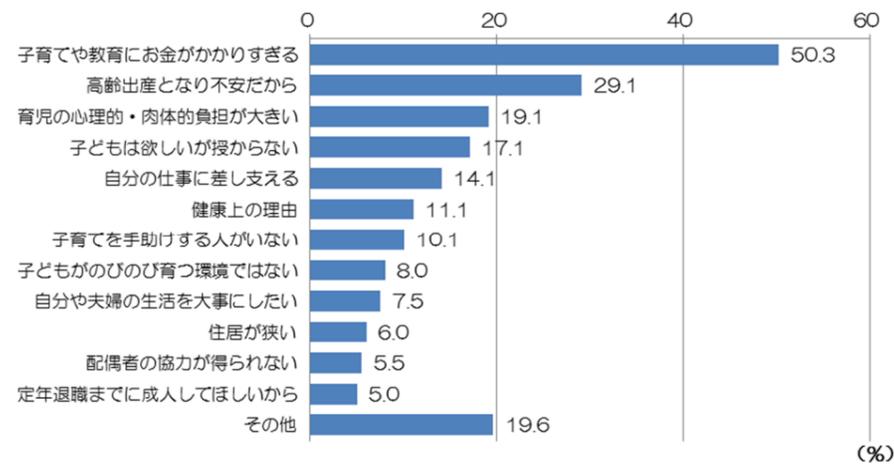
Q15. 現在子ども数・理想子ども数の関係 (N=375)

現在の子どもの数が理想の子どもの数を下回るとした方が6割、理想と同数か上回るとした方が4割でした。



Q16. 理想子ども数を持つのが難しい理由 (N=199)

理想子ども数を持つのが難しい理由としては「経済的な側面を挙げる方が多く、高齢出産への不安を挙げる方が続いています。」



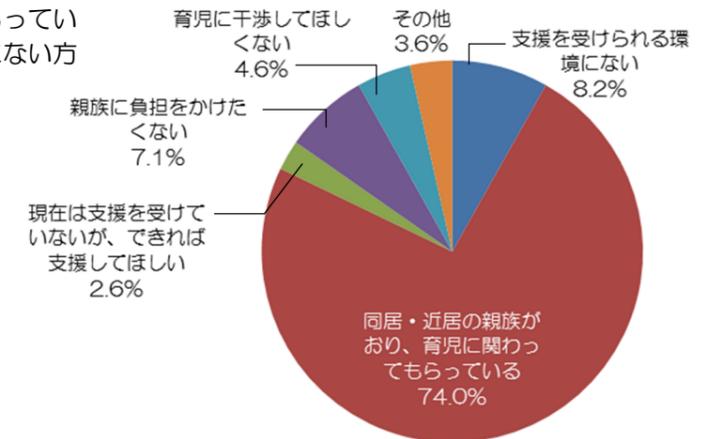
Q17. 理想子ども数に近づくために必要なこと (N=352)

理想子ども数に近づくために必要なことをお聞きしたところ、「職場における理解や支援」を挙げる方が最も多く、教育費等の費用負担軽減や家族等の支えを挙げる方が続いています。



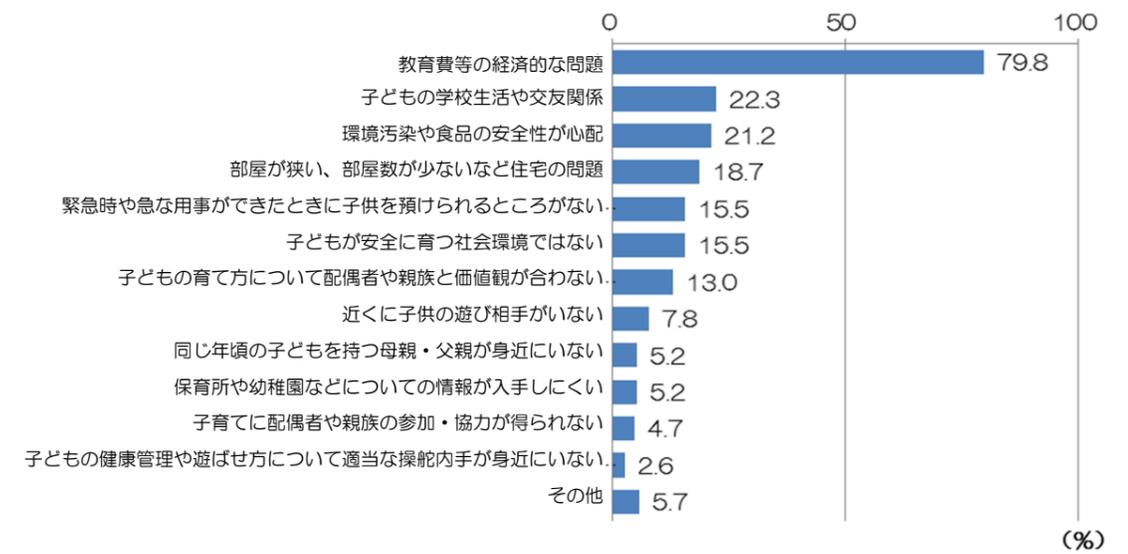
Q19. 親族の育児への関わり方 (N=196)

親族の育児への関わり方をお聞きしたところ、現に同居・近居の親族（祖父母等）に関わってもらっているという方が7割で、支援を受けられる環境にない方が1割でした。



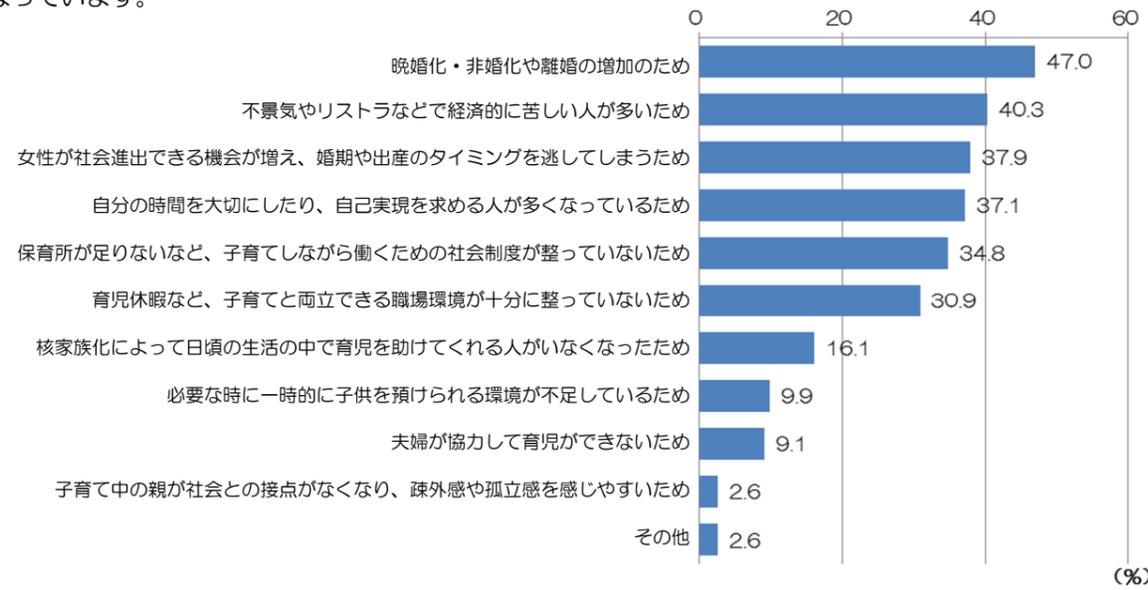
Q20. 子育てに関する悩み・不安 (N=193)

現在子育て中の方に子育てに関する悩みや不安をお聞きしたところ、「教育費等の経済的な問題」を挙げる方が圧倒的に多くなっています。



Q22. 出生率が低下している理由 (N=385)

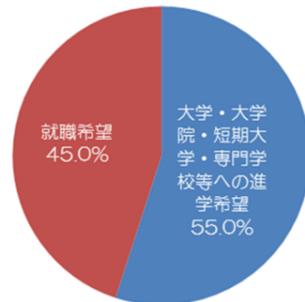
全ての方に出生率が低下している理由をお聞きしたところ、晩婚化・非婚化や離婚の増加を挙げる方が多くなっています。



【学業・しごとについて】

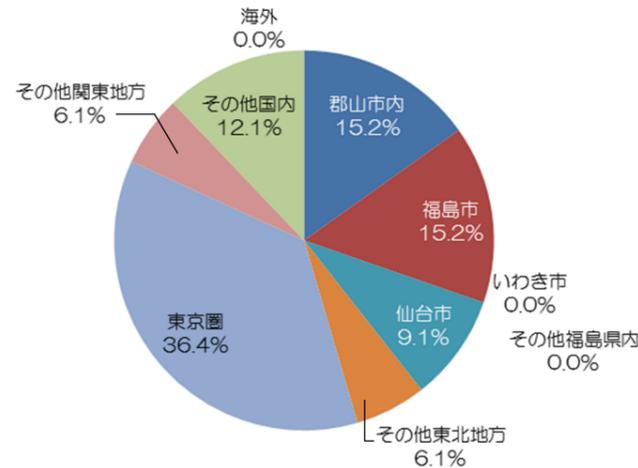
Q24. 卒業後の進路について (N=60)

現在在学中の方に卒業後の進路をお聞きしたところ、進学希望が55%、就職希望が45%となっています。



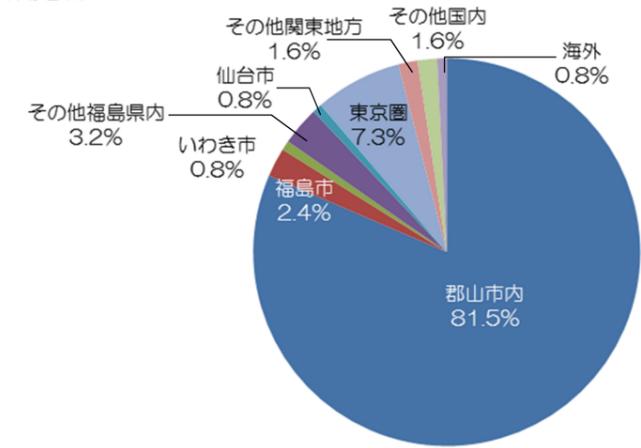
Q25. 進学を希望する学校の所在地 (N=33)

進学希望者に進学希望先の学校の所在地をお聞きしたところ東京圏と答えた方が4割で、郡山市内・福島市と答えた方がそれぞれ約15%でした。



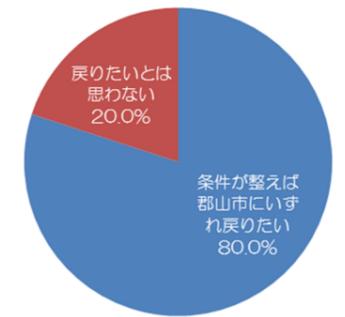
Q29. 就業を希望する事業所の所在地 (就業希望者等) (N=124)

就職希望者に就職・就業希望先をお聞きしたところ、郡山市内と答えた方が8割に上り、地元で働きたい方が多いことが分かります。



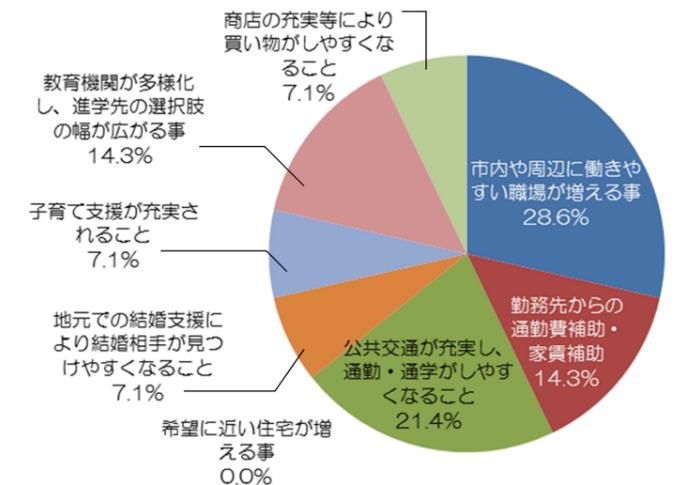
Q31. Uターン意向 (N=20)

市外への就職・就業を希望される方に将来の再転入意向をお聞きしたところ、条件が整えばいずれ郡山市に戻りたいという方が8割にのぼりました。



Q32. Uターンに必要なこと (N=14)

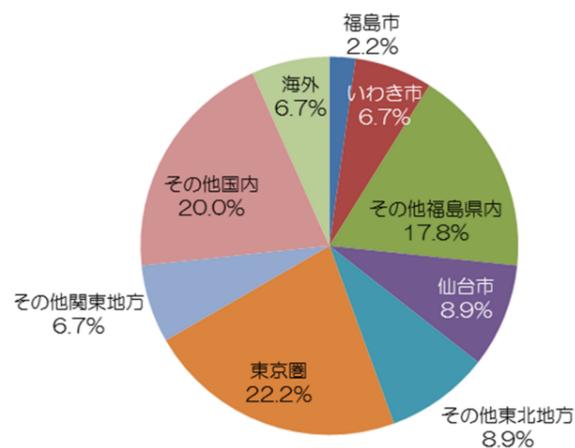
郡山市にいずれ戻りたいとお答えの方に、戻る条件として必要なことをお聞きしたところ、市内や周辺に働きやすい職場が増えることを望んだ方が3割、公共交通の充実を望んだ方が2割となっています。



B. 転入者アンケート調査

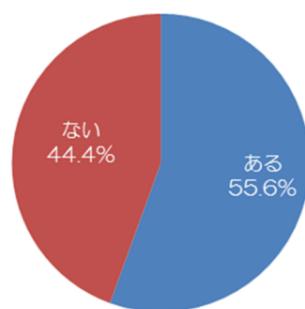
Q5. 転入前の居住地 (N=45)

郡山市に転入する前の居住地をお聞きしたところ、福島県内が約 27%、東京圏が約 22%、東北・関東以外が約 20%でした。



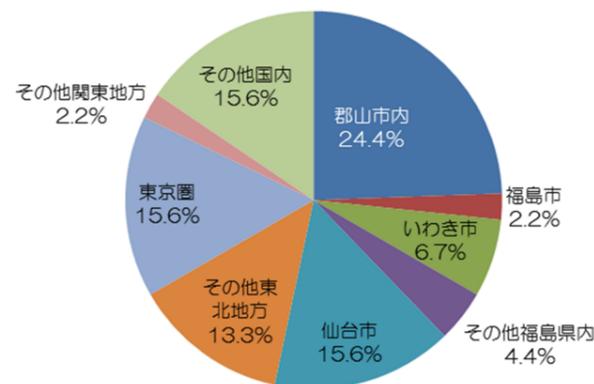
Q6. 以前に郡山市に住んだことはあるか (N=45)

以前に郡山市に住んだことがあるかお聞きしたところ、約 56%が住んだことがある方であり、元々地縁のあった方が多いことが分かります。



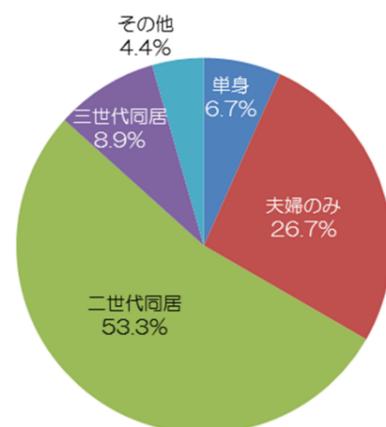
Q7. 最後に卒業した学校の場所 (N=45)

郡山市内の学校を卒業した方が約 24%、福島県以外の東北地方の学校を卒業した方が約 29%、東京圏の学校を卒業した方は約 16%となっており、あまり偏りの見られない結果となりました。



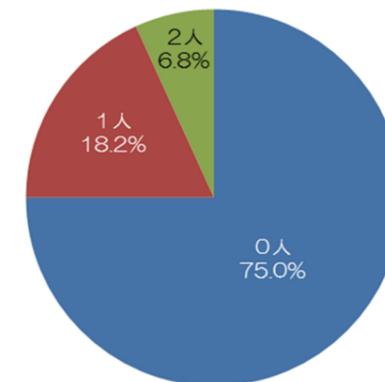
Q9. 家族構成 (N=45)

子育て中の核家族または実家に帰った親と子の二世帯同居の世帯の方が多く約半数。次いで子どものいない夫婦のみ世帯が約 27%、単身世帯や三世帯同居の割合は 1 割未満となっています。



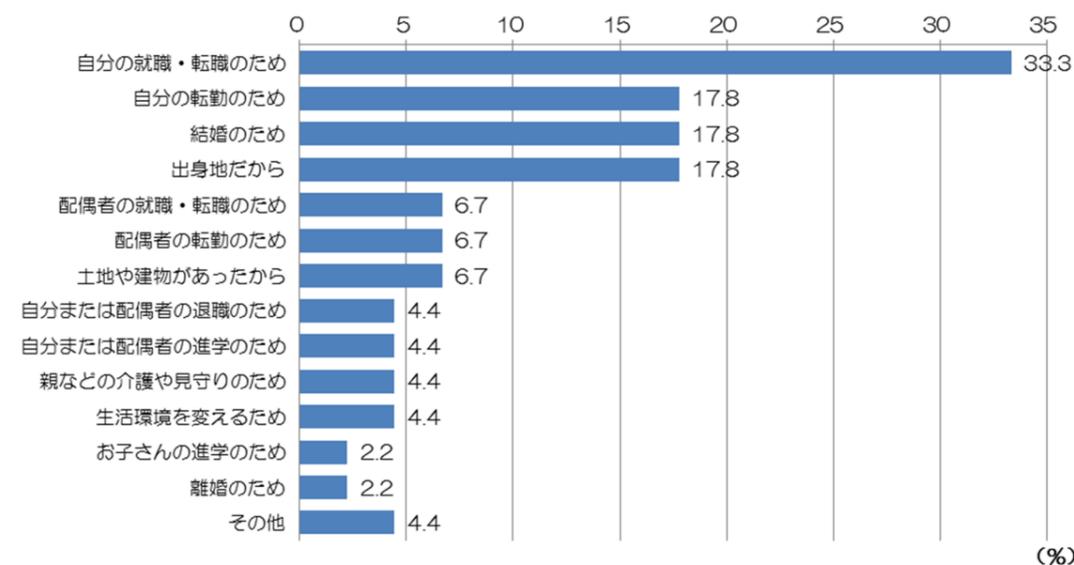
Q10. 子どもの数 (N=44)

子どもの数は 0 人が約 75%、1 人が約 18%、2 人が約 7%となっています。



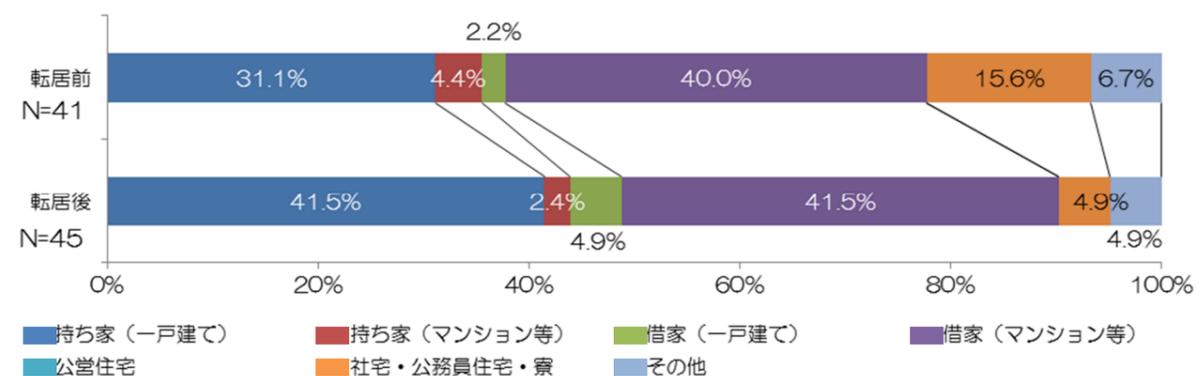
Q12. 転入の理由 (N=45)

転入理由で最も多かったのは「自分の就職・転職のため」が 3 割、「自分の転勤」「結婚」「出身地だから」が 2 割で並びました。



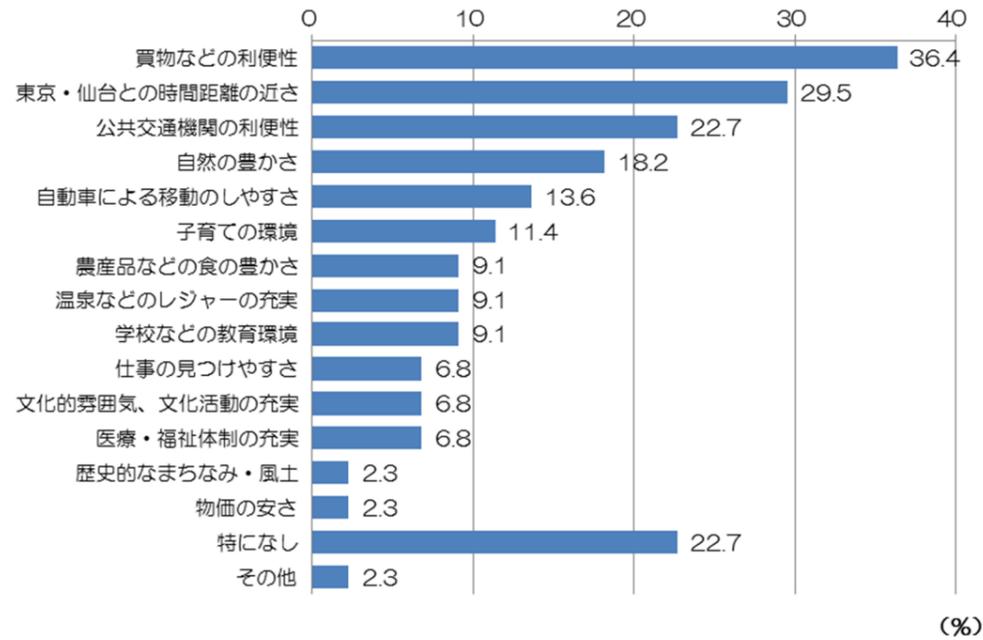
Q15. 転居前後の住宅所有の状況

転居前後の住宅所有状況を比較すると、持ち家の比率が上がり、給与住宅の比率が下がっており、住宅取得を伴う転入、または実家での同居が多いことが分かります。



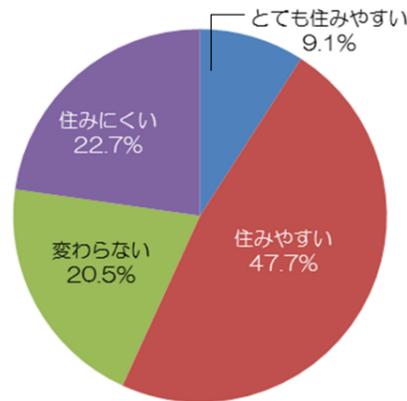
Q16. 郡山市に住んでみてよかった点 (N=44)

住んでみてよかった点としては「買い物などの利便性」を挙げた方が多く、「東京・仙台との時間距離の近さ」が続いています。「特になし」という方も2割に上りました。



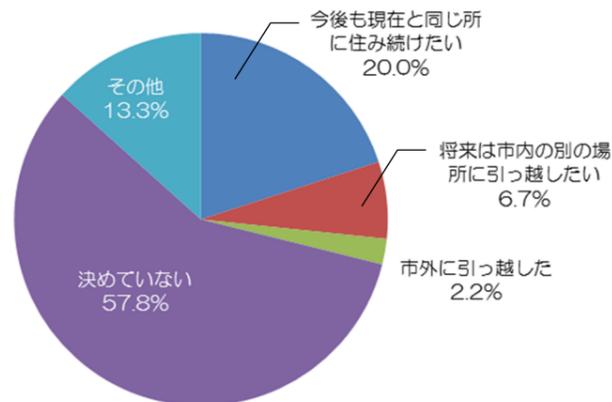
Q17. 前住地と比べて、郡山市は住みやすいか (N=44)

前住地との住みやすさを比較して頂いたところ住みやすいと答えた方が過半となりましたが、住みにくいと評価された方も2割に上ります。



Q18. 今後も郡山市に住み続けたいか (N=45)

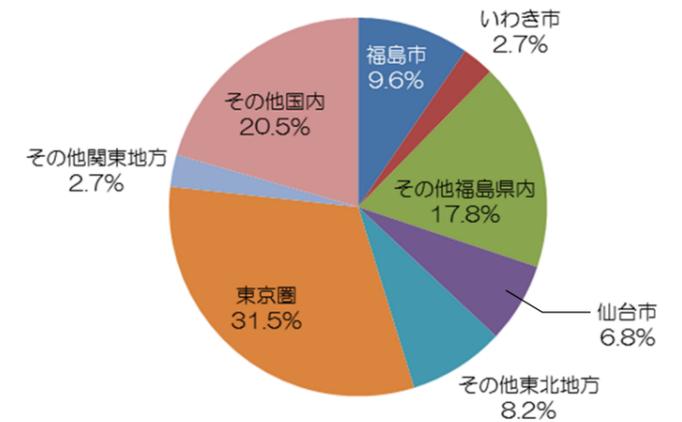
今後も郡山市に住み続けたいかお聞きしたところ、郡山市内に住み続けたいという方が3割、未定の方が6割でした。



C. 転出者アンケート調査

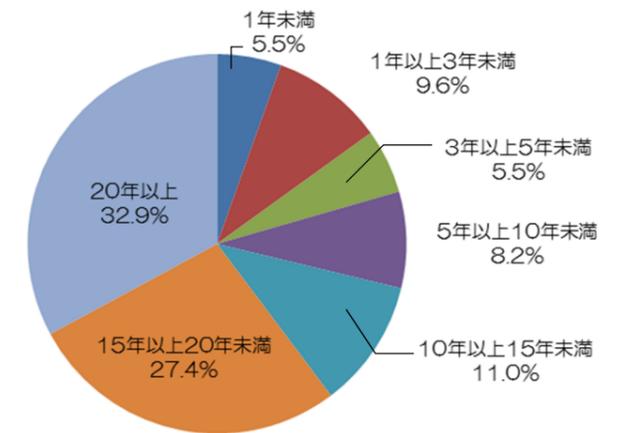
Q5. 現在の居住地 (N=73)

郡山市転出後の居住地は東京圏が3割、福島県内が3割、東北地方が約15%、その他が約23%という構成になっています。



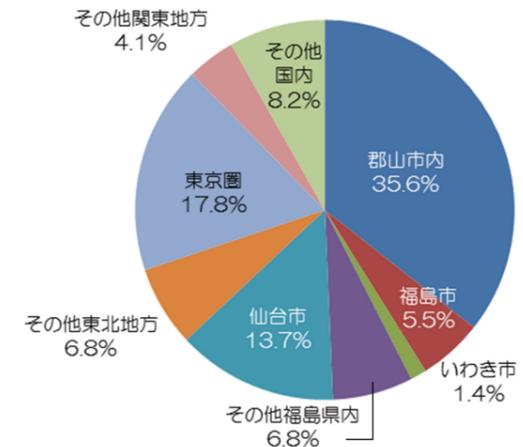
Q7. 転居前の郡山市における居住年数 (N=73)

転出までに郡山市に住んでいた年数をお聞きしたところ、15年以上の長期居住の方が6割に上り、5年未満の転勤などのサイクルで動いていると思われる方が2割という構成になっています。



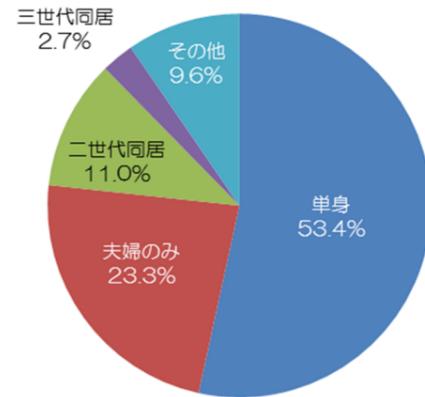
Q8. 最後に卒業した学校の場所 (N=73)

最後に卒業した学校の場所をお聞きしたところ、市内の方が4割程度となっており、地縁の強い方が転出されていることが分かります。



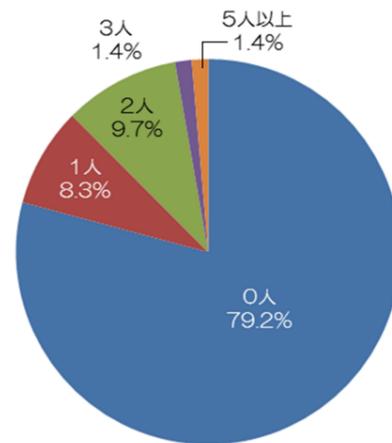
Q9. 家族構成 (N=73)

転出時の世帯構成は5割が単身、2割が夫婦のみ、1割が親子となっており、世帯分離によるとみられる**単身の転出**が多いことが分かります。



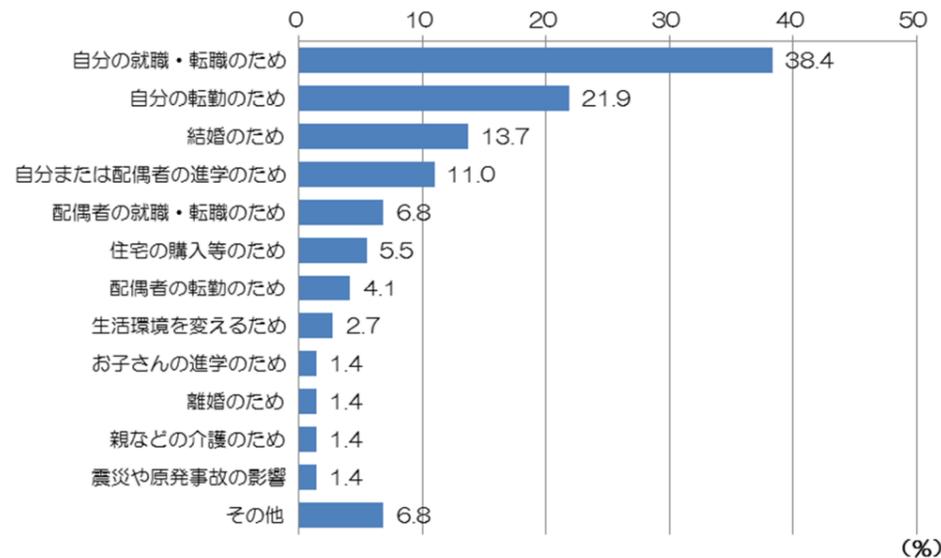
Q10. 子どもの人数 (N=72)

転出世帯のうち、子どものいる方は2割にとどまりました。



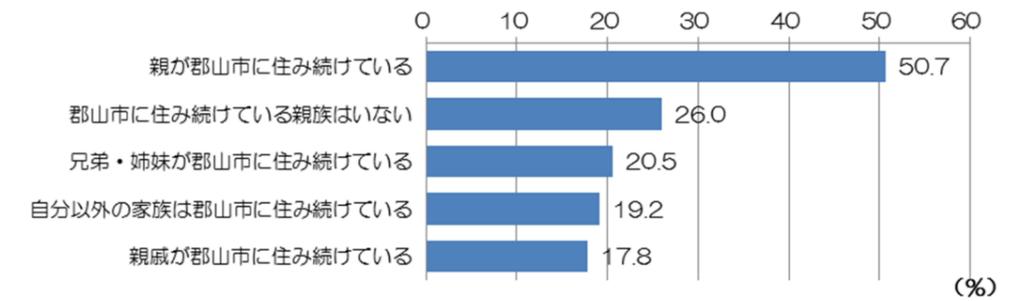
Q12. 転出の理由 (N=73)

転出理由で最も多いのは「**自分の就職・転職のため**」で4割に上ります。「**転勤のため**」も2割程度にのぼり、仕事を理由とした転出が多いことが分かります。



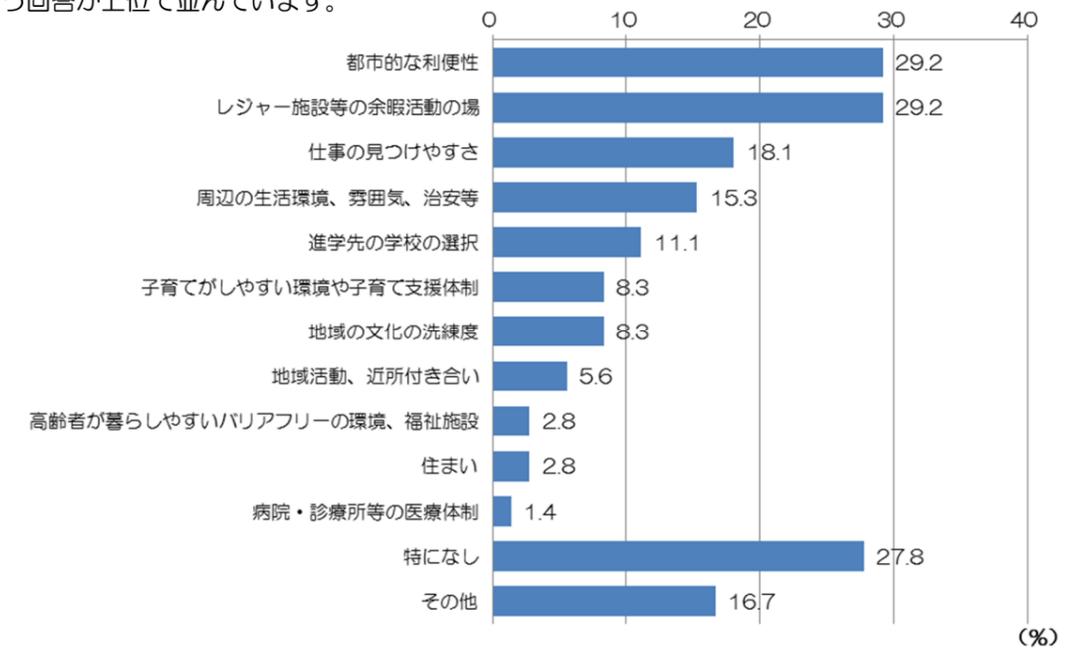
Q13. 転出後に郡山市に住み続けている親族の有無 (N=73)

親族を残して転出している方が半数に上り、**郡山市に血縁が残っている方が多い**ことが分かります。



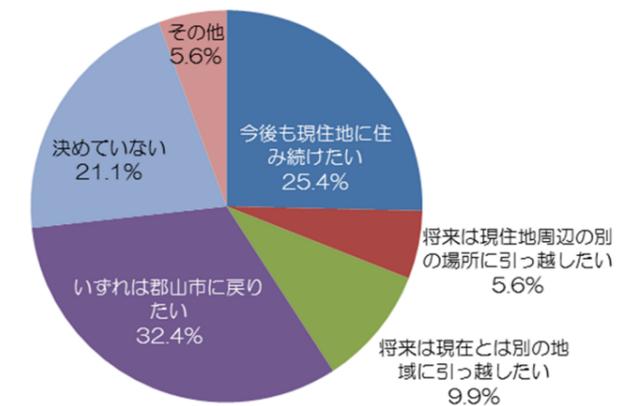
Q17. 郡山市に住んでいて不満だったこと (N=72)

郡山市に住んでいて不満だったことをお聞きしたところ、「**都市的な利便性**」「**余暇活動の場**」「**特になし**」という回答が上位で並んでいます。



Q19. 今後の居住継続意向、郡山市への再転入意向 (N=71)

今後も転出先の現住地に住み続けたいという方をいずれば郡山市に戻りたいという方が上っており、**転出後も将来の再転入の可能性を残している方が多い**ことが分かります。



概要報告は以上です。今後、**男女別のクロス集計**など詳細な集計、解析を進め、**人口ビジョン・総合戦略の策定に反映**していきます。調査にご協力頂きありがとうございました。